

2019年度 広報室 広報渉外委員会 方針

委員長／佐藤 雄亮 副委員長／高野 信子 委員会幹事／岩崎 一生

委員／石岡 秀一 石坂 寿子 塩谷 英和 国立 朋裕 佐々木 裕朗

委員長 佐藤 雄亮

1 函館青年会議所では、地域の経済、社会、文化等の発展に向け、日頃から様々な活動を
2 しており、その内容を多種多様な媒体を通じて広く発信しておりますが、内部外部ともに
3 十分浸透しきれてないのが現状です。我々が日々行っている地域発展に向けた運動に興味
4 を湧かせる伝え方で、共感や賛同を得られる組織形成とメンバーの自発的な参加意欲向上
5 を目指し、伝わる広報から生まれる波及効果をもたらす必要があります。

6 まずは、先輩諸兄や関係諸団体など様々な方々との確固たる協力体制を築くために、新
7 年初顔合わせの場を有意義に過ごしてもらえる環境を整え、今年度の活動方針や新組織体
8 制をお披露目することで、活動に対するご理解とご賛同をいただきます。そして、我々の
9 活動内容やメンバーの情報を広範囲で知ってもらうために、より広く深く拡散する仕組み
10 を構築し、SNSなど様々な情報発信ツールを取り入れながら情報更新を適時に行い、継
11 続的な発信をすることで、多くの住民に我々の運動を周知します。さらに、メンバーの活
12 動意欲をより高めるために、地域へ伝える「発信する広報」だけではなく、メンバー間で
13 互いを知る「共有する広報」にもフォーカスし、個々の仕事やスキルを共有することで、
14 青年会議所以外の間でもマッチングする機会を創出します。また、他青年団体との協力体
15 制をより確固たるものとするために、ひとつの事業構築を通じて地域住民に対する想いを
16 分かち合い、我々が日々運動している地域の発展を共に目指すことで、より深い親交関係
17 へとつなげます。

18 メンバー一人ひとりが情報の発信源となる人財として、その想いを地域住民へ広げ、多
19 くの共感から生まれる波及効果により我々の存在価値を高め、地域の青年経済人たちが自
20 発的に参加する組織へと進化し、誇りある函館の発展へとつなげてまいります。

21

22 事業計画

23 1. 1月例会（新年交礼会）の運営

24 2. ホームページの運営

25 3. 4月例会の運営

26 4. 8月例会の運営

27 5. 新入会員の拡大

28 6. 各委員会及び出向者への協力

29 7. 各種大会・会議への参加

30

31 [年間事業フレーム](#)